

グループ名	会議・委員会名	役職名	担当者名		
新潟ブロック協議会	Next Generation委員会	委員長	井上 慎太郎		
事業名	他者を思いやるJCカップU-11少年少女サッカー新潟ブロック予選大会			公益事業番号	公1
開催日時	開催場所	参加人数			事業予算
2025年 6月 7日(土) 8:00~16:55	新潟聖籠スポーツセンター アルビレッジ	対内 11 名	対外 217 名	合計 228 名	700000 円
テーマ	MJS presents JC カップ				
事業内容(200字)	希望あふれる理想を描き 変えたのだと誇れる未来へ 向けた内容の精査(200字)				
相手や仲間を思いやり、勝っても負けても相手をたたえることができ心身共に成長できるサッカー大会を開催します。また、試合後にアフターマッチミーティングを実施することで人のやさしさを感じ、他者への感謝や自他の尊重意識を醸成する契機とします。	<p>①グッドルーザー精神の育成 勝っても負けても相手を称え敬うことができる心の豊かさ、親切心、精神力をもった、地域の未来を担う人財を育成します。</p> <p>②応援サポーター制度導入 各チームに委員会メンバーが付き、アフターマッチミーティング時に見落とされがちな自然なを行い等を報告、賞賛し、子供たちの自己尊重に役立てます。</p> <p>③共生社会の実現 障がいのある方々への理解や相手への思いやりの大切さ、競争を通じて成長する中での敗北を受け入れそこから学ぶ力を伝えます。</p>				
外部出席者・経歴及びJCとの関わり(300字)	希望あふれる理想を描き 変えたのだと誇れる未来へ 向けた結果報告(400字)				
	<p>①全チームから1名グッドルーザー個人賞の輩出 プレー内外に置ける親切心や思いやりに溢れた選手に対し、賞状を送りました。</p> <p>②応援サポーター制度導入 各チームに青年会議所メンバーを1名配置し、プレー内外に置いて、当たり前と考えられ、見落とされがちな思いやりや助け合いを記録し、賞賛しました。</p> <p>③ブラインドサッカー体験の実施 大会に参加する全チームへ参加を義務付け障がいがある方々への理解を深める機会を提供しました。</p>				
その他提出物	    				

